小松（こまつ）小学校

所在地	〒533－0004 東淀川区小松3丁目18番15号
電話番号	06－6328－1936
FAX	06－6328－4676
校長名	杉原　伸行
開校年度	昭和27年度

◆学校からのメッセージ

本校では、「自ら学び心豊かにたくましく伸びる子を育む」を教育目標として掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。児童数は現在713人。子どもたちは、たくさんの友だちに囲まれ素直でいきいきとした毎日を過ごしています。何事にも真面目に取り組もうとし、子ども同士の結びつきは強いといえます。最近は、北校舎を改築し運動場の整地（令和2年度）や南校舎や東校舎のトイレを改修し、環境整備が進んでおります。今年度は創立73周年を迎え、さらなる教育の充実をめざし、さまざまな取組を行っています。また、本年度は「『できた！』があふれる教室に～PBS（ポジティブ行動支援）の視点を取り入れた授業づくり～」として、進んで発言する、話し合いに前向きに関わる、相手の話を肯定的に受け取る等ができるように研究を進めています。さらに、4年前から新聞にふれる環境づくりにも取り組んでいます。

自分から進んで挨拶をする意識や、運動能力・運動に対する意欲が課題としてあげられ、課題解決に向けて取り組んでいます。小松地域の良さである学校、PTA、地域が協力して子どもを育てようというムードに包まれて、子どもたちは充実した学校生活を送っています。

◆運営に関する計画

本校は、次の6点に重点を置いて計画を立てています。

1．進んで挨拶できる子どもの育成　　2．伝え合う力を高める指導の工夫
3．家庭や地域との連携強化　　4．基礎学力の向上
5．運動能力と運動に対する意欲の向上　　6．教育環境の充実

具体的には、以下の通りです。

○学校評価アンケートで「気持ちの良いあいさつができる」の質問に「できている」と答える割合を80%以上にする。
○友だちとの間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる児童の割合を増やす。

◆令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果から

国語の平均正答率は全国・大阪市平均を下回り、算数の平均正答率も同様の傾向が見られます。しかし、国語の平均無解答率は全国比で0.8ポイント、算数は2ポイント低く、生徒たちの解答への意欲がうかがえます。

国語：「伝え合う力」の育成を目的に、デジタル新聞を活用した新聞づくりを行い、語彙力向上の活動に力を入れた結果、「読むこと」や「書くこと」で全国平均を上回る成果を収めています。

算数：毎時間の学習目標を確認しながら、「話し合い活動」を積極的に取り入れることで、「まとめ」を導き出し、学習内容の定着を図っています。

平均正答率（%）

	国語	算数
学校	65	59

【P.20に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

◆令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果から

体力測定結果と取り組み：握力は全国・大阪市平均を上回りました。「反復横跳び」を重点的に改善するため、「竹馬」や「なわとび検定」の日を設定し、休み時間を活用して取り組んでいます。また、体育授業で「リズムなわとび」を導入し、タブレットを使った動画視聴を通じて、楽しみながら技能向上を図っています。

運動意欲に関する調査結果：運動やスポーツに関する質問では、肯定的な回答した割合では男子は90%、女子は76%でした。男子は大阪市平均より約4ポイント低く、女子は9ポイント低い結果です。これを受け、運動への意欲をさらに高め、体力向上に結びつく活動を継続していきます。

種目別平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
男子	16.06	18.96	32.75	35.44	42.91	9.6	146.42	20.02	50.2
女子	15.79	16.67	38.22	34.94	31.94	9.92	139.88	11.54	51.64

【P.20に全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】

◆学校行事の内容

★土曜授業
5月17日（土）　地域合同防災訓練
例年、地域の防災リーダー、警察、消防、区役所、小松幼稚園、PTAの皆様等の協力を仰ぎ、地震や津波時の避難訓練や、応急処置教室、煙中体験、水消火器、起震車。防災○×クイズ等の体験学習を行います。

★わくわくスタート
次年度入学予定である小松幼稚園、相川保育園、風の子保育園の園児たちを小松小学校に招き、1年生の授業の様子を見学したり、5年生と一緒に遊んだりします。

★にこにこ班活動
朝の会で1年と6年、2年と5年、3年と4年がそれぞれペア（にこにこ班）になってゲームや運動をします。また、給食の時間も互いの教室で一緒に給食を食べ、交流をしています。

★ペア学年遠足
昨年度から、ペア学年での活動を充実させ、2学年合同で遠足を実施しています。異学年の交流を深め、より豊かな学びにつなげています。

地域合同防災訓練

★こまつハッピーフェスティバル
各クラスでゲームなどのお店の企画・準備、運営をします。2つの学年が異学年交流をしながらペア（にこにこ班）で、お店を回りゲーム等して仲良く活動をします。

◆特色ある教育活動

本校では、「伝え合う力」の育成をめざし、教育活動に取り組んでいます。各教科や学級活動で、いろいろな資料を集めて、必要な項目に分類しわかりやすく伝えることができる力の育成を育んでいきます。また、「なかよし班活動」（たてわり班）にも力を入れています。年間計画を立て、ペア学年で楽しく遊んだり、協力して掃除を一緒にしたりして活動しています。異学年との交流を通して、自分のことだけではなく、困っている友だちにそっと手をさしのべられる心豊かな児童の育成にも力を入れて取り組んでいます。

また、こども新聞や英字新聞を活用した取り組みを行い、子どもたちの情報収集力を高めています。

ペア学年交流の様子

◆小松わくわく教室

本年度で第15回目を迎えます「小松わくわく教室」は、学校・PTA・保護者・地域・企業の5者が協力して取り組む行事です。ダンスや手品、昔遊び、スポーツ、化粧品作りなど18から20の教室を開き、PTAや保護者、地域の人たち、大学生、企業に勤める人たちを講師として招いて、教えていただきます。普段の授業では、なかなか体験できないことや会う機会の少ない人たちと接することで、人とつながることの大切さを知り、将来の展望がもてることをねらいとしています。

◆あいさつ運動

「進んで挨拶ができる子ども」を育てるために、児童会が中心になって学期に1回、あいさつ運動を実施しています。今年度も「あいさつ頑張りカード」を作り、気持ちの良いあいさつができているかを自分で振り返るようにしています。　あいさつ運動の期間中だけでなく、普段の生活や地域の人たちへも、自ら進んであいさつができる子どもを育てるため、道徳の授業を中心に取り組んでいます。

あいさつ運動のようす